

主 要 農 作 物 等

奨 励 品 種 等 特 性 表

令 和 5 年

千 葉 県

目 次

○	利 用 上 の 注 意	1
1	水 稻 う る ち	2
2	水 稻 も ち	3
3	酒 造 好 適 米（認定品種）	3
4	水稻うるち低グルテリン米（認定品種）	4
5	小 麦	5
6	六 条 大 麦	5
7	大 豆	6
8	ら っ か せ い	7
○	水稻品種別作付面積の推移	8

【利用上の注意】

1 編集の概要

本表は、千葉県の主要農作物等（稲、麦類、大豆、及び落花生）奨励品種及び認定品種について、県の奨励品種決定調査で得られた成績等で明らかにされた品種の諸特性を集約したものである。

- ・奨励品種：千葉県の気象、土壌、需要動向等を考慮し、県内で普及すべき優良品種としての位置づけを持つもの（収量、病虫害抵抗性、品質その他栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性を総合的に勘案し、既存の奨励品種と比較して明らかに優れていると認められる品種）。
- ・認定品種：特定用途での栽培要件にあった品種であり、需要は限られているが重要な位置づけを持つもの。

2 評価方法について

本表に示された「難易」、「多少」、「強弱」、「上下」等の評価は、県が定めた指標品種、比較品種（県内に広く栽培されている品種中、障害の比較的少ない品種）等との相対的比較によって得られたものである。

なお、栽培上の特性、収量等については、あくまでも試験場等で得られた成績であり、一般農家での平均値でないこと、いもち抵抗性も菌の系統（レース）によって著しく異なる場合もあること等にも留意して利用されることが望ましい。

3 項目別の表示について

（１）来歴

両親名は、母本×父本の順である。また、育成年は、国で育成した品種については国で登録された年、県農試等で育成された品種は当該県で登録された年である。

（２）採用年度

千葉県が奨励品種又は認定品種として採用した年度を示す。

（３）適地

土性別（砂壤土、壤土等）、地力別（肥沃地、やせ地等）等、当該品種の普及奨励上の地帯区分を適宜示したものである。

（４）栽培適性

水稻は、晩植、機械化栽培等、麦にあつては野菜間作、水田裏作等、栽培上あるいは普及奨励上の特性及び留意事項を適宜示したものである。

（５）概評

当該品種について、総合的に見た特性について、「優点」と「欠点」とに分けて略述したものである。

（６）その他の項目

奨励品種決定調査に用いる区分、表現で示した。

1 奨励品種特性表

(1)水稲うるち

栽培型	早晩性	品種名	来歴 (育成場所 育成年)	採用年	出穂期 月日	成熟期 月日	穂長 cm	穂 長	穂数 本/m ²	芒の多少・長短	ふ先の色	草型	穂発芽性	脱粒性	玄米の色・光沢	腹心の多少	玄米			食品質	食味	諸抵抗性					栽培適性	概評	
																	千粒重 g	容積重 g/l	粒径 mm			葉いもち	首いもち	白葉枯	紋性	耐冷性		耐倒伏性	優点
早期	早の早	ふさおとめ	〔東北143号(ひとめぼれ) × 越南146号(ハナエチゼン) F ₁ 蒔培養 千葉県農試 平7年〕	平8	7.13	8.15	73	18.4	456	稀・短	黄白	偏穂数型	難	難	中・良	無	23.4	785	5.4×3.0	上の上	上の上	中	やや弱	やや弱	極強	中	県下全域	食味良好 良質 耐冷性強	いもち病にやや弱い
					7.13	8.18	74	18.3	475																				
	早の中	ふさこがね	〔中部64号 × 千葉6号(ふさおとめ) 千葉県農総研 平16年〕	平16	7.15	8.21	73	19.1	451	稀・短	黄白	中間型	難	難	中・良	無	22.5	794	5.3×3.0	上の上	上の上	中	強	中	極強	強	県下全域	良質 食味良好 いもち病に強い 耐冷性強	
					7.19	8.28	81	19.5	502																				
早の晩	コシヒカリ	〔農林22号 × 農林1号 福井県農試 昭31年〕	昭31	7.24	9.01	89	19.4	423	稀・短	黄白	中間型	難	難	中・良	無	20.3	803	5.0×2.8	上の上	上の上	やや弱	やや弱	中	強	極弱	県下全域	良質 食味良好 穂発芽性難	倒伏し易い	
				7.23	9.01	83	19.1	431																					
早の晩		粒すけ	〔コシヒカリ × 佐系1181 F ₁ 蒔培養 千葉県農林総研 平30年〕	平30	7.23	9.01	83	19.1	431	稀・短	黄白	中間型	やや難	やや難	中・良	無	22.0	803	5.2×2.9	上の上	上の上	中	中	強	やや強	県下全域	耐倒伏性やや強 多収 葉いもち抵抗性強 良食味		

- 調査地点：香取市(平成29年～令和3年の5か年の平均値)
- 耕種概要：早期栽培、稚苗手植。ただし、窒素施肥量は、「ふさおとめ」「コシヒカリ」が基肥3kg/10a、種肥3kg/10a、種肥は幼穂形成期(幼穂長1mm)に施用。
- 出穂期、成熟期及び生育データは、は種期を4月3日、田植期を4月25日としたときのデータ。ただし、「ふさおとめ」の上段は、は種期を3月30日、田植期を4月19日にしたときのデータ。

(2)水稲もち

栽培型	早晩性	品種名	来歴 (〔育成場所 育成年〕)	採用年度	出穂期 月日	成熟期 月日	成穂期 月日	穂長 cm	穂数 本/m ²	芒の多少・長短	ふ先の色	草型	穂発芽性	脱粒性	玄米の色・光沢	心白の多少	腹白の多少	玄米		食品質	食味	諸抵抗性				適地	栽培適性	概評		
																		干粒重 g	容積重 g/l			粒径 mm	葉いもち	首いもち	白葉枯			紋枯	耐冷性	耐倒伏性
早期	早の早	ヒメノモチ	〔大系227 × こがねもち 東北農試 昭47年〕	昭63	7.16	8.22	87	20.1	398	稀・短	黄白	偏穂重型	やや易	難	乳白・良	-	-	21.5	778	5.1×3.0	中の上	上	強	強	弱	強	中	やや強	食味よく 耐冷性やや強い	穂発芽し易い 白葉枯病に弱い
	早の中	ふさのもち	〔ココノエモチ × 白山もち 千葉県農総研 平19年〕	平21	7.20	8.28	73	19.7	427	少・短	褐	中間型	やや難	難	乳白・良	-	-	23.0	774	5.2×3.0	中の上	上	極強	中	中	極強		耐倒伏性強い もち抵抗性強 餅の食味良		

- 1 調査地点：香取市（平成29年～令和3年の5か年の平均値）
2 耕種概要：早期栽培、稚苗手植。窒素施肥量は基肥6kg/10a、穂肥3kg/10a。穂肥は幼穂形成期（幼穂長1mm）に施用。
3 出穂期、成熟期及び生育データは、は種期を4月3日、田植期を4月25日としたときのデータ。

(3)酒造好適米

栽培型	早晩性	品種名	来歴 (育成場所 育成年)	採用年度	出穂期 月日	成穂期 月日	穂長 cm	穂数 cm	穂の多少・長短	ふ先色	草型	穂発芽性	脱粒性	玄米の色・光沢	心白の多少	腹白の多少	玄米			食品質	諸抵抗性				適地	栽培適性	概評	
																	干粒重	容積重	粒径		葉いもち	首いもち	白葉枯	紋枯			耐冷性	耐倒伏性
早期	早の中	総の舞 (認定品種)	白妙錦 × 中部72号 千葉県農試 平12年	平成13	7.14	8.20	81	19.5	390	稀・短	偏穂重型	難	難	中飴・良	多	微	25.3	773	5.2 × 3.2	上 の 下	-	中	強	やや強	やや強	強	良質 酒造適性良好 多収 耐冷性強 いもち病強	心白発現率 70～90%

- 1 調査地点：香取市（平成29年～令和3年の5か年の平均値）
2 耕種概要：早期栽培、稚苗手植。窒素施肥量は基肥6kg/10a、穂肥3kg/10a。穂肥は幼穂形成期（幼穂長1mm）に施用。
3 出穂期、成熟期及び生育データは、は種期を4月3日、田植期を4月25日としたときのデータ。

(4)水稲うるち低グルテリン米

栽培型	早晩性	品種名	来歴 〔育成場所 育成年〕	採用年度	出穂期 月日	成熟期 月日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	芒の多少・長短	ふ先の色	草型	穂発芽性	脱粒性	玄米の色・光沢	心白の多少	腹白の多少	玄米			食味	諸抵抗性					適地	栽培適性	概評	
																		千粒重 g	容積重 g/l	粒径 mm		葉いもち	首いもち	白葉枯	紋枯	耐冷性			耐倒伏性	優点
早期	早の中	ゆめかなえ (認定品種)	LGC-1(エルジーシー1) × ひとめぼれ 〔千葉県農総研 平17年〕	年 平18	月日 7.18	月日 8.25	cm 73	cm 20.6	本/m ² 541	少・やや短	黄白	偏穂数型	難	難	中	中	無	無	21.5	783	5.3×2.8	上の上	上の中	やや弱	中	やや弱	やや強	やや少肥栽培向き (玄米タンパク質含量低減のため)	良質 耐倒伏性やや強 穂発芽性難	いもち病弱 耐冷性やや弱

1 調査地点:香取市(平成29年～令和3年の5か年の平均値)

2 耕種概要:早期栽培、稚苗手植。窒素施肥量は、基肥6kg/10a、穂肥3kg/10a。穂肥は幼穂形成期(幼穂長1mm)に施用。

3 出穂期、成熟期及び生育データは、は種期を4月3日、田植期を4月25日にしたときのデータ。

(5)小麦

早 晩 性	品種名	来歴 〔 育成場所 育成年 〕	採用 年度	出穂 時期	成熟 期	稈 長	穂 長	穂 数	芒 の 長 短	株 の 開 閉	穂 の 発 芽 性	脱粒 性	秋播 性	玄麦		硝子 率	品質	諸抵抗性								適地	栽培適性	概 評	
														干粒重	容積重			黒小 錆・赤 錆	黄 うど んこ び	赤力 比	萎縮	斑	凍霜 害抵 抗性	耐肥 性	耐倒 伏性			優 点	欠 点
早	さとのそら	〔 (東山25号(しゅんよう) × 西海168号(きぬいろ は)) F1 × ニシカゼコムギ 群馬県農技セ 平20年 〕	平 23	4.14	6.3	79	8.8	306	中	中	難	中	Ⅳ	37.5	771	-	中 の 上	強	-	強	-	-	-	-	強	転換畑に適す る	良質、耐倒伏 性強、萎縮 病抵抗性強	-	-

- 1 耕種概要:栽培場所は香取市(畑地利用研究室)で、数値データは平成28年～令和2年の平均値。普通畑での条播栽培(70cm条)。
2 出穂期:平均は種期を11月13日としたときの出穂期。
3 秋播性程度:生育初期における短日・低温要求の度合を示すもので、その程度を7段階に分け、要求度の高いものがⅦ、最も低いものがⅠである。

(6)六条大麦

早 晩 性	品種名	来歴 〔 育成場所 育成年 〕	採用 年度	出穂 時期	成熟 期	稈 長	穂 長	穂 数	芒 の 長 短	株 の 開 閉	穂 の 発 芽 性	脱粒 性	秋播 性	玄麦		硝子 率	品質	諸抵抗性								適地	栽培適性	概 評	
														干粒重	容積重			黒小 錆・赤 錆	黄 うど んこ び	赤力 比	萎縮	斑	凍霜 害抵 抗性	耐肥 性	耐倒 伏性			優 点	欠 点
早	カシムムギ	〔 北関東皮3号 × ムサシノムギ 農事試 昭44年 〕	昭 44	4.8	5.22	75	4.3	255	中	閉	難	中	Ⅱ	35.1	648	-	中 の 上	強	強	中	中	弱	強	強	中	機械化栽培に 適する	良質、早熟、多 収	萎縮病に弱 く、赤力比病に やや弱い	-

- 1 耕種概要:栽培場所は香取市(畑地利用研究室)で、数値データは平成28年～令和2年の平均値。普通畑での条播栽培(70cm条)。
2 出穂期:平均は種期を11月13日としたときの出穂期。
3 秋播性程度:生育初期における短日・低温要求の度合を示すもので、その程度を7段階に分け、要求度の高いものがⅦ、最も低いものがⅠである。

(7)大豆

早晩	区	品種名	来歴	奨励品種採用年度	開花期 月日	成熟期 月日	生態型	莖長 cm	分枝数	主節数	葉型	伸育性	毛茸の有無	花色	熟色	裂性	子実				粗蛋白質 %	粗脂肪 %	品質	品	諸抵抗性								適地	栽培適性	概評	
																	百粒重 g	形状	皮色	臍色					シストセンチュウ	マメシロイガ	ウイールス	紫斑病	黒痘病	力メムシ類	耐肥性	耐倒伏性			優点	欠点
晩	性	里のほほえみ	東北129号 × 刈交0264MYF ₆ 〔東北農試 平21年〕	令和2	8.19	11.1	ⅡC	50.6	3.5	11.3	鋭先卵	有限	有・白	白	褐	難	性	39.4	扁球	黄白	黄	46.6	20.3	上 下	弱	-	強	強	-	-	強	大豆・麦の大 型機械化体 系に適する	栽培適性	大粒 良質 難裂英性	優點	10aあたりの播 種量が多い
早	中粒白目	タチナガハ	東山161号 × 東山系G627 〔長野県中信農試 昭61年〕	昭63	8.18	10.28	ⅡC	47.6	3.6	11.1	長	有限	有・白	紫	褐	中	33.3	楕円	黄	黄	43.0	21.2	中 上	極弱	-	中	強	強	-	強	大豆・麦の大 型機械化体 系に適する	栽培適性	大粒 良質 倒伏しにくい	莢実害虫の被害を受け易い		
中	中粒白目	サチユタカ	(フクユタカ×エンレイ) F ₂ × エンレイ 〔九州農試 平13年〕	平16	8.9	10.31	ⅢC	43.5	5.7	13.0	円	有限	有・白	紫	褐	易	35.2	球	黄白	黄	47.8	19.2	上 下	弱	-	中	強	弱	-	強	晩播・密植栽培に適する	栽培適性	大粒 良質 多収 倒伏しにくい	莢実害虫の被害を受け易い 裂英し易い		
晩	中粒褐目	フクユタカ	岡大豆 × 白大豆3号 〔九州農試 昭55年〕	平15	8.21	11.5	ⅣC	65.1	4.9	16.0	円	有限	有・白	紫	褐	易	30.8	球	黄白	淡褐	46.0	19.9	上 下	弱	-	中	強	弱	-	強	晩播栽培に適する	栽培適性	良質 安定多収	ウイルス病に弱い 早播密植で倒伏し易い 裂英し易い		

- 1 耕種概要:「里のほほえみ」及び「タチナガハ」は水田転換畑(野田市)で、条間35cmとして栽培した。数値データは平成30年～令和3年の平均値。
- 2 開花期:は種期を「里のほほえみ」及び「フクユタカ」は普通畑(香取市 畑地利用研究室)で、条間70cmとして栽培した。数値データは平成29年～令和3年の平均値。
- 3 「タチナガハ」は令和5年度まで鑑止予定。

(8)らっかせい

早	品 種 名	来 歴 (育成場所 育成年)	採 用 年 度	開 花 期 月 日	收 穫 期 月 日	最 長 分 枝 数	落 葉 の 早 晩	草 型	英 大		1 株 あ っ た り の 上 実 数	百 粒 重	子 実 形 状		英 品	10a当たり収量			む き み 歩 合	組 蛋 白 質	組 脂 肪	諸 抵 抗 性	用 途	適 地	栽培適性	概 評					
									く び れ の 程 度	小			上	下		計	実	実								実	実	実	実	実	実
晩 性																															
早	さとのか 郷の香	ナカテユタカ × 八系192号 千葉農試 平7年	平 8	6.28 9.13	43	17	や や 早	立 性	大 の 中	大 の 中	26	87	長	淡 橙 褐	や や 上	353	219	39	258	73	-	や や 強	中	中	や や 強	ゆ で 豆	県下全域	野菜跡地等の 肥沃地にも適 する	良 質 多 収 莢の外観良	収穫遅れ及び 加工遅れによ る食味の低下	
中	ナカテユタカ	関東8号 × 334A 千葉農試 昭54年	昭 54	6.30 9.19	40	39	中 や や 晩	立 性	大 の 中	大 の 中	21	94	長	淡 橙 褐	や や 上	363	226	38	263	72	-	中	中	中	や や 強	煎 豆 ・ 加 工 用	県下全域	野菜跡地等の 肥沃地にも適 する	良 質 良 食 味 多 収 子実の外観良	収穫遅れによ る食味の低下	
晩	ちばはんたち 千葉半立	在来種からの純系淘汰 千葉農試 昭28年	昭 28	7.2 10.4	49	50	中 間	中 間	大 の 小	大 の 小	21	86	や や 長	淡 橙 褐	中	342	189	50	239	70	-	中	中	や や 弱	煎 豆 ・ 加 工 用	県下全域			良 食 味	収穫期が遅い	
中	(参考) ちばひーひゃく じゅうよんごう 千葉P114号 (県育成品種)	郷の香 × 関東96号 千葉農林総研 平成30年	平 30	7.1 9.17	52	18	や や 早	立 性	大 の 中	大 の 中	27	89	長	淡 橙 褐	や や 上	373	229	36	265	71	-	中	中	中	中	煎 豆 ・ 加 工 用	県下全域			良 食 味 高シヨ糖 多収 莢の外観良	分枝が長い 収穫遅れによ る落莢の発生
晩	(参考) おおまさりネオ (県育成品種)	おおまさり × 郷の香 千葉農林総研 出願中	令 3	6.30 9.27	51	43	や や 晩	立 性	大 の 大	大 の 大	14	124	や や 長	淡 橙 褐	中	324	190	29	218	67	-	中	中	中	ゆ で 豆	県下全域			良 食 味 「おおまさり」と 比較して、草型 がコンパクトで 白絹病・茎腐 病に強い	水不足による 子実不良が発 生しやすい	

1 奨励品種決定調査の平成28年～令和2年の5か年うち収量が中間3年の平均値

2 試験場所は八街市(落花生研究室)

3 耕種概要: マルチ栽培、株間30cm。

4 開花期は、ほ種期を5月22日としたときの開花期。

5 10a当たり収量及びむきみ歩合は、乾燥した子実の調査データである。

○ 水稻品種別作付比率の推移

(単位: %、ha)

昭和50年		昭和55年		昭和60年		平成2年	
品種名	作付比率	品種名	作付比率	品種名	作付比率	品種名	作付比率
コシヒカリ	33.0	コシヒカリ	51.0	コシヒカリ	57.6	コシヒカリ	66.0
ハウネンワセ	26.9	ハウネンワセ	11.6	初星	12.4	初星	18.7
トドロキワセ	15.0	トヨニシキ	11.3	* トヨニシキ	5.2	はなの舞い	5.9
トヨニシキ	11.0	ハヤヒカリ	6.3	トドロキワセ	5.0	ヒメノモチ	1.3
* フジミノリ	2.9	* アキヒカリ	6.3	サチミノリ	4.9	* アキヒカリ	0.9
ツキミモチ	2.4	トドロキワセ	6.2	ハウネンワセ	3.5	ハヤヒカリ	0.8
信濃糯3号	1.5	ツキミモチ	1.6	* アキヒカリ	2.7	ツキミモチ	0.8
		サチミノリ	1.4	ハヤヒカリ	2.6	* トヨニシキ	0.8
		信濃糯3号	0.6	コチヒビキ	0.1	トドロキワセ	0.7
水稻作付面積	88,000	水稻作付面積	77,300	水稻作付面積	75,700	水稻作付面積	70,500
平成7年		平成12年		平成17年		平成22年	
品種名	作付比率	品種名	作付比率	品種名	作付比率	品種名	作付比率
コシヒカリ	62.9	コシヒカリ	66.4	コシヒカリ	69.2	コシヒカリ	68.6
初星	21.5	ふさおとめ	12.8	ふさおとめ	11.3	ふさこがね	12.0
はなの舞い	5.2	ひとめぼれ	6.2	* あきたこまち	9.6	ふさおとめ	10.0
ひとめぼれ	3.3	* あきたこまち	5.2	ひとめぼれ	4.9	* あきたこまち	4.8
ヒメノモチ	1.4	初星	3.8	ヒメノモチ	2.1	ヒメノモチ	1.8
ツキミモチ	0.8	ヒメノモチ	2.0	ツキミモチ	0.7	ひとめぼれ	1.1
* あきたこまち	0.6	はなの舞	1.2	初星	0.3	* ツキミモチ	0.2
アキヒカリ	0.6	ツキミモチ	0.9	はなの舞	0.2	* マンゲツモチ	0.1
ハヤヒカリ	0.3	* アキヒカリ	0.3	* アキヒカリ	0.1	* はなの舞	0.0
水稻作付面積	71,200	水稻作付面積	63,200	水稻作付面積	62,900	水稻作付面積	61,400
平成27年		令和2年		令和3年		令和4年	
品種名	作付比率	品種名	作付比率	品種名	作付比率	品種名	作付比率
コシヒカリ	66.1	コシヒカリ	56.4	コシヒカリ	54.3	コシヒカリ	53.3
ふさこがね	14.3	ふさこがね	22.8	ふさこがね	23.4	ふさこがね	25.1
ふさおとめ	11.7	ふさおとめ	12.5	ふさおとめ	11.7	ふさおとめ	10.1
* あきたこまち	3.3	* あきたこまち	1.9	粒すけ	3.4	粒すけ	4.3
ヒメノモチ	2.0	粒すけ	1.4	* あきたこまち	1.8	* あきたこまち	1.7
ひとめぼれ	0.7	ひとめぼれ	0.5	ひとめぼれ	0.4	ひとめぼれ	0.4
ふさのもち	0.6	ヒメノモチ	2.3	ヒメノモチ	2.7	ヒメノモチ	2.8
* マンゲツモチ	0.2	ふさのもち	0.5	ふさのもち	0.5	ふさのもち	0.6
* ツキミモチ	0.0	* マンゲツモチ	0.5	* マンゲツモチ	0.5	* マンゲツモチ	0.5
水稻作付面積	58,300	水稻作付面積	52,500	水稻作付面積	48,100	水稻作付面積	45,500

*印:奨励品種外品種を示す。

(県 生産振興課調べ)

注1:飼料用米を除く

注2:作付比率の算出について、平成29年産以前は市町村に対する照会を行っていたが、平成30年産以降は種子の配付実績に基づく推計である。

注3:令和2年より品種の並び順をうるち品種、もち品種の順に変更。

千葉県主要農作物等奨励品種等特性表（令和５年）

令和５年４月発行
千葉県農林水産部生産振興課

〒260-8667 千葉市中央区市場町１－１
電 話 043(223)2883
FAX 043(222)5713